

過程重視探究発表会の開催

宮崎東高校定時制夜間部では、2019年度より総合的な探究の時間を先行実施し、定時制高校だから出来る探究活動に学校全体で取り組んで7年目になります。2024年度より全国の定時制高校にも呼びかけて、「過程重視探究発表会」を開催しています。

2026年3月13日（金）に、青森県立三沢高校・青森県立田名部高校・福岡県立八幡中央高校・宮崎東高校の4つの定時制高校の6名がオンラインで参加した発表会が開催されました。本校からは1名が参加し、3年次生が「なぜ、推し活をしているんだろう」というテーマで発表し、他の生徒は各教室でZoomにより6名の発表を視聴しました。

発表会を通して結果ではなく、自分の興味・関心にどのくらい探究心をもって取り組んでいるかを聴衆に伝えることを通して、生徒に自信を持たせることを目的としています。各校のテーマも身近な食べ物や職業、恋愛など多様で、自分で8週間の摂取実験を行ったり、データの可視化と現実との対比など、ユニークな発表内容に3名の審査員の方からも高い評価を受けていました。

本校の卒業生の中にはシンガポールで自分の研究を発表(2024年度卒)したり、自著を出版(2025年度卒)する者もいて、定時制高校だからこそ有効に時間を使って多くの体験が出来たことが、これらの行動につながったことと思います。

2024年度からは総探プロジェクトリーダーの西山先生が、千葉大の田川先生の協力を得て生成AIを活用した生徒へのフィードバックに取り組むなど、今後とも進化した総合的な探究の時間を目指していきます。

